

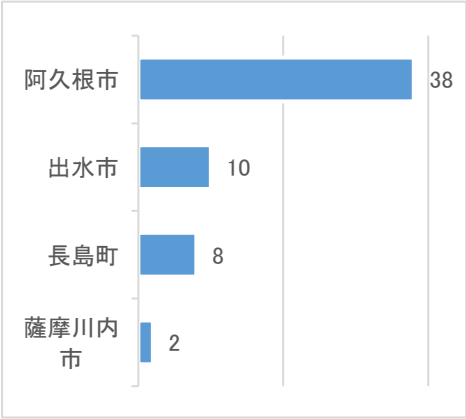
2025 年度 多職種交流研修会(阿久根市会場)アンケート結果

2025 年 10 月 24 日（金） 場所：風テラスあくね

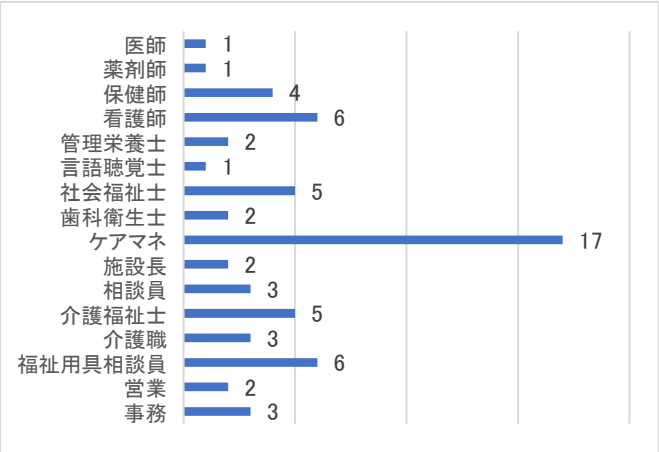
参加者：63 名

アンケート回収 58 枚 回収率 92%

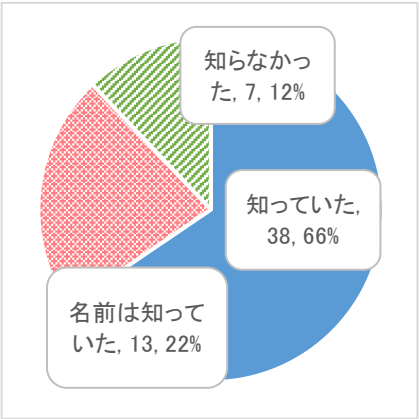
1. 勤務地



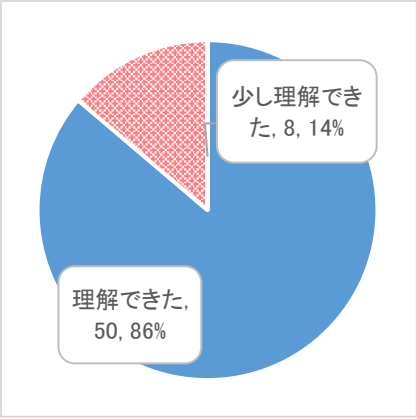
2. 職種(参加者全員分)



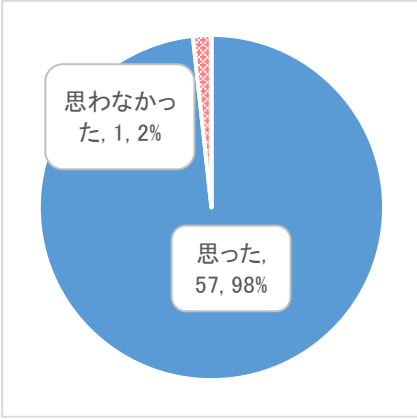
3. マイライフノートについて 知っていたか



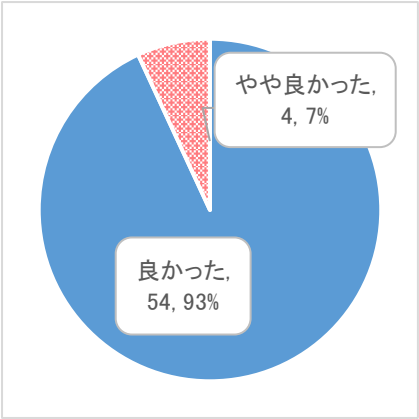
4. マイライフノート・ピースメモの 使い方を理解できたか



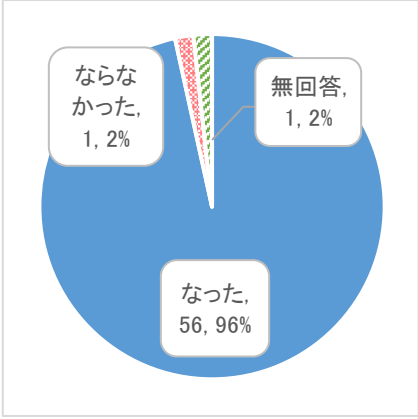
5. 今後の業務に研修内容を 活かそうと思ったか



6-① グループワークの内容について



6-② 他の職種の業務について知る機会となったか



7. 研修やフリートークの中で、感じた事や印象に残ったこと

- ・自分は両親にマイライフノートを書いてもらえなかった。でも、利用者には勧めていこうと思います。
- ・文字にするのは難しいですね。何度も繰り返すことの大切さを感じました。今回もたくさんの学びがありました楽しかったです。ありがとうございました。
- ・皆様の好きなことや大事にしたい事や気持ちを知れて良かったです。現場(利用者様)で活かしていきたいと思っています。
- ・実際にピースメモを書いてみて、自分自身について見つめ直す機会になりました。職場以外の多職種の方々の話も聞けて、貴重な時間になりました。ありがとうございました。
- ・自分でも自分のことを考えることがなかったので、良い機会になりました。ピースメモがあることで考えやすくなったと思いました。
- ・一度ではなく、対話を繰り返すことで ACP ができ上る事を実感しました。
- ・ピースメモは日頃の業務でも活かしていきたいと思いました。グループワークのフリートークがとても良かったと思います。学びとなりました。
- ・3 回見た動画でしたが、その時その時で感じ方が違った。私の想いに書いている内容も違っていることに気付くことができた。日々想いは変化するんですね。
- ・自分のことはあまり知らなかった。色んな職種の方の意見が聞けて良かった。
- ・自分自身が 5 年程前からエンディングノートを書いてきました。その内容は必要事項ばかりで、残された人がもしもの時に困らないように、と書きとめていました。「ピースメモ」を書いてみて、自分がしたいこと等書いていく中で、自分の価値観やワクワクすること等、「生きる」希望につながる楽しいことに注目できました。とてもいいなあと感じ、仕事の中で活かしていきたいと思いました。
- ・自分のことを意外と考える時間を取れていなかったと感じた。
- ・思いつくのは家族。些細なことが大事。今日明日、何があるか分からないので、ケンカをしても挨拶だけはするようにする。大切にしたいもの、家族と趣味。仕事柄傾聴することが多く、自分が伝える側にもなりたい。
- ・自分の両親にも、元気なしっかりしているうちに書いてもらいたい。自分の分も書いておきたいと思う。楽しい時間でした。
- ・一つ一つ想いを拾って意向を知る。気持ちを引き出しする方法の難しさ。自身で記入する時進まないと実感しました。
- ・マイライフノートがもっと普及するといいなと思いました。岩下先生のお話し・お声がとても良かったです！
- ・日頃から気軽に話せる関係性を作っておきたいと思った。
- ・会場が参加者が多く、相手の声が聞きとりにくかったのがやや残念だった。マイライフノートはこれから大切だという事はよく理解できた。
- ・ACP は難しいと思いました。
- ・色んな視点があることが分かった。アプリがあれば気軽に記入できるかなと感じた。(ベッドに寝ながらでも)
- ・自分の社会性のなさ。
- ・皆さんの大切なことや好きなこと等を聞けて楽しかったです。ほっこりする話が多くて楽しい時間が過ごせました。
- ・自分だけでなく家族にもピースメモを書いてもらいたいなと思った。ピースメモを書いて気付いたが、甥っ子たちのことが多かった。

- ・マイライフノートのアプリがあれば若い人も気軽に書いて持ち運ぶ必要もないので便利との意見が参考になった。
- ・それぞれ違う職種の方々の意見を知れて良かったです。
- ・楽しかったです。
- ・ピースメモの活用が分かりやすく良かった。この内容で地域の出前講座も進めていってほしい。(以前のカードゲームも良いと思うのですが)。グループワークも楽しく、いろいろと話が聞けて良かった。
- ・マイライフノートの内容が気軽にスマホ等のアプリで入力できると良いとの意見がありました。マイライフノートを渡すタイミングが難しいと思った。グループワークは少し長かったと思う。
- ・フリートークが気軽に話せてとても楽しかったです。今後の自分にも活かそうと思いました。
- ・自由な意見が聞けて良かったです。
- ・思いは変わって当然。自分の大切にしたい事が、結局は家族のことを思い浮かべて書いている自分に気付く。まずは自分から少しずつ ACP の輪を広げていきたい。
- ・自分のこと、家族のこと、普段の生活の中で考えていなかったことを見つめ直すことができました。
- ・自分とは全く違う価値観を聞いたので参考になりました。何を大事にするかもその時のコンディションや状況で変わるのだなと思いました。
- ・今後の仕事に活かすことができたと思いました。
- ・実際に自分で書くのは難しいと感じた。時間をかけて完成させたいと思う。
- ・マイライフノートやピースメモはアセスメントの一つだと思います。最期までその方らしく生き抜く為の支援を提供するには、その方を知ること、つまりアセスメントが重要だと思います。施設であれば看取り、病院ではターミナルケアとありますが、マイライフノートはエンドオブライフケアにも通ずるものがあると思いました。ありがとうございました。



2025 年度 多職種交流研修会(長島町会場) グループワーク意見

88 大切にしたいこと

- ・家族との時間×2
- ・健康×2
- ・帰る家
- ・一人の時間×2
- ・緩和ケア・患者さんの想いに寄り添う
- ・老後を大切にしたい 笑顔あふれるように
- ・周りの皆の笑顔
- ・猫との時間
- ・お祈り
- ・家族には本音で
- ・仲間との時間(バレー)
- ・二胡仲間との時間
- ・自由な時間
- ・友達
- ・借金を残さない

88 過ごしたい場所

- ・実家(京都)
- ・家(場所は問わない)
- ・実家 甥っ子たち
- ・自宅(長島)×3
- ・外(どこでも) 外出好き
- ・イタリア
- ・庭先(花いじり)
- ・家で過ごしたい
- ・ホテル

88 行きたい場所

- ・墓参り
- ・ハワイ
- ・アメリカ
- ・子供の頃過ごした場所
- ・見た事ない所に行ってみたい 生き物・自然が好き
- ・子供が手を離れて生活が変わった。色々な所に行ってみたい
- ・家族との旅行
- ・タイ
- ・天の橋立を見たい
- ・体育館
- ・富山で初日の出
- ・紅葉
- ・思い出の場所
- ・イタリア
- ・京都
- ・星野リゾート

88 自分を理解してくれる人

- ・学生時代からの親友
- ・親
- ・わからない。あまり理解を求めない
- ・夫・主人(2人)
- ・妻
- ・母×2
- ・子供×2、子供たち
- ・兄
- ・いない

88 好きなこと・好きな物・楽しみ

- ・バーベキュー×2
- ・友人とのランチ
- ・動植物
- ・ショッピング
- ・子供の野球の試合観戦
- ・泊まり歩き
- ・好きなアイドルを応援すること
- ・ジョギング
- ・ゆっくり過ごすこと
- ・祈りの場所
- ・食べること
- ・子供と釣り・野球
- ・プロレス観戦
- ・ドライブ
- ・バレー
- ・乾杯の瞬間
- ・ビール&つまみ
- ・バドミントンの試合を見る
- ・家族旅行
- ・読書
- ・アニメ
- ・子供の成長
- ・ビールを飲みながらサッカー観戦
- ・ライブ
- ・アイドル
- ・ビーグル

88 やってみたいこと・願い

- ・推しの選手とキャッチボールしたい
- ・10年かけて竹山を開墾したい

- ・猫カフェ
- ・花の植え替え
- ・ドッグランに愛犬を連れていく
- ・身体が動くうちに夫とキャンピングカーで九州一周旅行に行きたい
- ・旅行
- ・今の生活が続くといいな
- ・のんびりしたい
- ・ゆっくりしたい
- ・何もしない日を作る
- ・お世話になった人に感謝を伝える旅
- ・学生時代やり残したことを名古屋にやりに行きたい
- ・図書館に何時間でも
- ・スキューバダイビングの資格を取り、深い所に潜りたい

88 ピースメモを書いてみて

- ・自分のことより家族のことを書いていた
- ・親はどうしたいか？ 分からないことが多い
- ・3 会場で思いが変わる
- ・自分のことだけど、自分自身のことが分からない
- ・やりたいことがない
- ・4 回目の参加 毎回違うことを書いている
- ・家族のことが一番 自分のことはあまり出てこない
- ・共通したワード
- ・子育て中、自分のことは後回し。手が離れたらようやく自分のことを考える余裕が出てきた
- ・書き直し・見直しが必要だと思った
- ・書く年齢によって大分内容が変わる
- ・読んで書くのが面倒
- ・思ったより難しかった 病気になる前、認知機能が低下する前に書く
- ・若い人から定着できるようになれば 学校でも周知を
- ・一人では書かないのでは デイサービスのレクレーションで書くのもいいのかも
- ・今の生活の状況によって考え方が変わってくる
- ・文字にすることは難しい
- ・病院受診や施設入所の際、マイライフノートを書いてあると助かる
- ・自分の気持ちが見えてくる(同窓会をしてみたいなど)
- ・普段自分を振り返る事が少ないと感じた
- ・自分のことを振り返る機会になった 知らないことが多い
- ・前職で人に書くことをすすめていたが、自分が書くとなると難しい
- ・書きにくい 誰かに見られる 素直に書けばいいが時間がかかる
- ・家族にマイライフノートを書いてほしい
- ・父には聞きやすいが、叔母には聞きづらい
- ・書くタイミングは重要だと思った
- ・スラスラとは書けないな・・・
- ・人によって書きやすい所異なる
- ・若い時に書いておく
- ・日々変わっていくだろうな 家族は何を書くのかな
- ・迷いながら書いた
- ・両親がどうやったら書いてくれるかな



- ・人によって書きやすい所異なる
- ・やりたいこと、行きたい場所はすぐ書けたけど、大切にしたいこと、自分の気持ちを理解してくれる人は難しい
自分が思っている人が本当に理解してくれているのか(友人・夫・妹 人それぞれ)
- ・時間をどう使うか考えたい
- ・自分のことを振り返るのって、ゆっくりした感じがあって良かった
- ・ピースメモを施設でも活用してみたい

〇〇その他

・いざという時

マイライフノートがあると、医師・家族は判断しやすい

本人の希望があっても家族の強い希望で・・・

家族でも分からないことが多い

- ・通帳・印鑑などの整理が必要
- ・自費レンタルの契約を家族が知らない
- ・ACP については入所時に明示している(ACP 用の用紙を準備している)
- ・病院での ACP は、がん患者は拒否されることもある
- ・ACP については事務的に聞くよりもまずは日常会話で詳しく変化を追う
- ・家族と延命について話し合っている
- ・臓器提供の意思がある
- ・施設→意思確認できない状態の方
- ・在宅→書きたがらない 本当の気持ちを書いてくれない
- ・最期の最後で家族の思いも変わることがある。
- ・意見が変わることが前提で、人と話をするようにしている
- ・年齢を重ねていくと、考え方が変わっていくのを実感する
- ・スマホのロック番号などをエンディングノートに書いたりしている
- ・今後、身寄りのない死が増えてくると思う
- ・マイライフノートを書いたことを家族に伝えておく必要がある
- ・書いてはいいないが話はしている
- ・アプリがあったらもっと手軽に書ける
- ・ポイントアップの対象にしたらいいかも
- ・ACP は高齢者だけのイメージだったが今はそうでもない。難病の人・第 2 号被保険者も等も 自分はまだかな
とっていたけどそうでもない
- ・仕事で利用者様のプライベートを聞いていくけれど、支援に活かしきれているのかな
- ・人生の中で一番輝いていた時のことを聞くと、支援する上で大切なことが聞ける
- ・実際に危険な状態にある場合は、やっぱり ACP はしづらい 最期に向けてどうしたいかは、直接はなかなか聞
けない
- ・動画があってイメージできたのが良かった。日常のことを書いておくと残された人が思いを知ることができる

